



学校教育目標 「生命(いのち)輝く子どもを育てる」  
 ー心はほかほか、学びはしっかり、体ははつらつー



# とひの かふち

《学校だより》 第16号

令和4年12月21日発行  
 湯河原町立湯河原小学校  
 校長 北村和裕

12月3日(土)の学校公開日には、大勢の保護者の皆様にご参観いただきありがとうございました。当日は、教室での授業の他に、ペンキアートやスマホ・携帯安全教室、それにおべんとうの日など内容が盛りだくさんで、子どもたちのいろいろな姿をご覧いただけたのではないのでしょうか。

あと少しで冬休みを迎え、この1年が終わろうとしています。今年も、新型コロナウイルスの感染症対策を講じながらも教育活動を着実に進めていくことができたのは、ご家庭のご理解、ご協力があったからこそであり、感謝申し上げます。冬休み中もコロナの感染予防とともに、インフルエンザの流行にも留意し、体調管理をしながらお過ごしくださいますようお願いいたします。



スマホ・携帯安全教室

## 全校のみんなでペンキアート

12月3日(土)の学校公開日に、全校児童が中庭でペンキアートを行いました。これは、開校150周年記念事業としての取り組みで、1・2年生はパッカー車(ゴミ収集車)に、3～6年生はC棟1階のピロティの壁面に絵を描きました。パッカー車は、地元の二見商店さんと橋本金属さんに2台ずつご手配いただき、クラスで1台ずつ描きました。C棟のピロティは、各クラスで1面ずつの壁に絵を描いていきました。テーマは「ほかほかな〇〇の世界」で、〇〇の部分はクラスごとに考えます。森や海などに行っているクラスもありました。その世界の中で描くものは各自で考えます。1つの絵をみんなで描いていくという方法もありますが、今回はそれぞれの子が思い思いの絵を描くようにしました。パッカー車や広い壁面に下書きをすることもなく描くことに、ためらう子もいるかと思いましたが、心配はいりませんでした。誰かが描き始めると次々に筆を動かしていきました。

子どもたちの描く姿を見て思いました。「きれいに描かなければならない」「この色ではおかしい」「失敗してはいけない」などと、人と比べられたり、人に評価されたりするとプレッシャーがかかります。しかし、この日の絵は思い思いに自由に描くものでした。描く場所も大きさも形も色も、すべて自分で考え、自分らしく表現したものでした。ですから、どの子もプレッシャーのない素敵な笑顔で生き生きと描いていたのだと思います。それぞれが思い思いに描いていたはずなのに、描き終わった後のパッカー車や壁面を見ると、不思議なことにまとまりや一体感を感じます。一人ひとりの個性を持った子どもたちが集まってクラスというまとまった集団を形成しているのにも似ているように思いました。



パッカー車のアート



ピロティの壁面のアート



## お弁当の日

学校公開日は「おべんとうの日」でもありました。普段の給食とは違い、お弁当。しかも、子ども達もお弁当づくりに関わったので、お弁当の時間を楽しみにしていたようです。「この卵焼きは自分で作ったんだよ」「お弁当箱に詰めるのを全部自分でやったよ」など、あちらこちらから声が聞こえてきました。子どもが弁当づくりに自分で関わってみることで、食材に対する感謝の思いや毎日保護者の方が作ってくれる料理や学校での給食をありがたく思う気持ちが育っていったと願っています。



楽しみにしていたお弁当

## 日直を置かない日

教職員の「働き方改革」の一環として、冬休み中に「日直を置かない日」を設定しました。期間は12月27日(火)・28日(水)と1月4日(水)・5日(木)で年末年始の休業も合わせると12月27日(火)から1月5日(木)まで日直が不在となります。

この期間に緊急で学校と連絡を取る必要が生じた場合には、次のようにお願いします。

12月27・28日, 1月4・5日

…教育委員会(62-1100)

12月29日～1月3日

…町役場(63-2111)

(その他、子どもたちの様子は学校のブログに掲載中)

<https://www.yusho.site/>